

(広報資料)

平成18年11月22日
都市計画局
(担当 交通政策室
TEL 222-3483)

LR T交通社会実験における実験バス乗車モニターの募集等について

京都市では、人と環境にやさしい新しい公共交通システムであるLR Tに関する検討を行っており、モデル路線である「今出川線」(北野白梅町～出町柳)沿線における交通社会実験の実施に向け、先日、第1回「今出川通の交通まちづくりとLR T検討協議会」を開催したところです。

この実験では、今出川通(北野白梅町～出町柳)において、LR Tの走行環境に近い状況を創出したうえで、LR Tに見立てた実験バスを運行させ、導入した場合の効果や課題を把握することとしています。

このたび、この実験にご協力いただける実験バス乗車モニターを下記のとおり募集します。

また、「今出川線」沿線学区を中心に開催した意見交換会の結果など、現在の検討状況をまとめた「LR T(新型路面電車)ニュース No2」を発行しますので、併せてお知らせします。

記

1 実験バス乗車モニター募集

- (1) 日 時 平成18年1月24日(水)午前10時から午後1時まで(予定)
- (2) 内 容 実験バスへの乗降やアンケート記入等
- (3) 対 象 18歳以上の方
- (4) 募 集 数 約300人
- (5) 募集期間 平成18年12月1日(金)から12月28日(木)まで
- (6) 申込方法 市役所本庁舎案内所、区役所・支所などで配布のチラシ(別紙1・黄緑色)に添付の申込書、または、交通政策室ホームページ(<http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/>)において受付

2 「LR T(新型路面電車)ニュース」(別紙2・オレンジ色)の発行

- (1) 配布開始 平成18年12月1日(金)から
- (2) 配布場所 市役所本庁舎案内所、各区役所・支所等

*なお、北、上京、左京区の住民に対し、市政協力委員を通じて全戸回覧を行います。

今出川通におけるLRT交通社会実験の 実験バス乗車モニターを募集します

京都市では、自動車交通に過度に依存しない「歩くまち・京都」の実現に向けた取組の一つとして、LRT（新型路面電車）に関する検討を行っています。この検討の一環として、モデル路線である「今出川線」(北野白梅町～出町柳)の沿線において、交通社会実験の実施を予定しています。

この実験では、LRTに見立てたバスを走行させて、導入した場合の効果や課題を把握することとしており、この交通社会実験にご協力いただける実験バス乗車モニターを募集します。

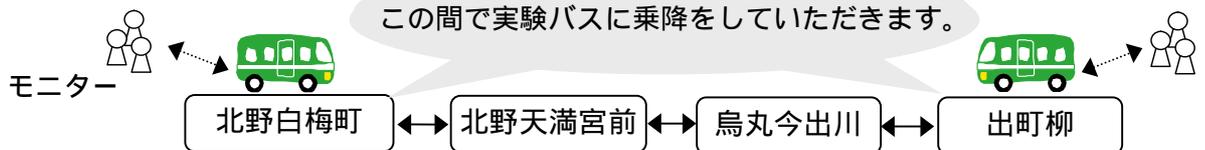
LRTとは？

従来の市電とは異なり、バリアフリーに優れ、環境にやさしく、専用化された軌道を持ち、時間に正確などの特徴がある新しい路面電車

募集要綱

日 時	平成19年1月24日(水) 午前10時～午後1時(予定)
モニター内容	本市の誘導に従い、LRTに見立てたバスに1時間程度乗車し、実験にご協力いただいたあと、アンケートへのご記入等をお願いします。 集合時間や集合・解散場所(出町柳もしくは北野白梅町)等の詳細につきましては、後日お知らせします。
対 象	18歳以上の方
募 集 数	300名程度
募 集 期 間	平成18年12月1日(金)～平成18年12月28日(木)当日必着
申 込 方 法	本申込書に必要事項をご記入の上、郵送または、FAXでお申し込み下さい。 ホームページからもお申し込み頂けます。 ホームページアドレス： http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/

実験バス運行計画(案)



き り と り

お申し込みFAX番号：075-213-1064

12月28日(木)申し込み締め切り

モニター応募申込書

お名前		年齢	才
ご住所	〒()		
ご連絡先	TEL		

ご記入頂きました個人情報は、厳正に管理し、他の目的での利用や第三者へ提供することはありません。なお、モニターとなられた方には、1月中旬に、ご記入頂きましたご連絡先宛てにご案内を送付致します。

【連絡先】京都市都市計画局交通政策室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL:075-222-3483 FAX:075-213-1064

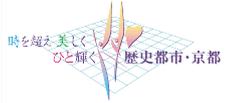


京都市印刷物 第184366号

LRT (新型路面電車) ニュース

No 2

発行：京都市都市計画局交通政策室
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地
TEL:075-222-3483 FAX:075-213-1064
京都市印刷物 第184364号



●京都市では、自動車交通に過度に依存しない「歩くまち・京都」の実現を目指しており、この取組の一つとして、人と環境にやさしい新しい公共交通システムであるLRTに関する検討を行っています。

「第1回 今出川通の交通まちづくりとLRT検討協議会」を開催！！



富山市内を走るLRT

LRTとは？

従来の市電とは異なり、バリアフリーに優れ、環境にやさしく、専用化された軌道をもち、時間に正確などの特徴がある全く新しい路面電車

京都市では、LRTの走行環境に近い状況をつくり出し、LRTを導入した場合の効果や課題などを広く把握することを目的に、検討を深めるためのモデル路線とした「今出川線」において、交通社会実験の実施を予定しています。

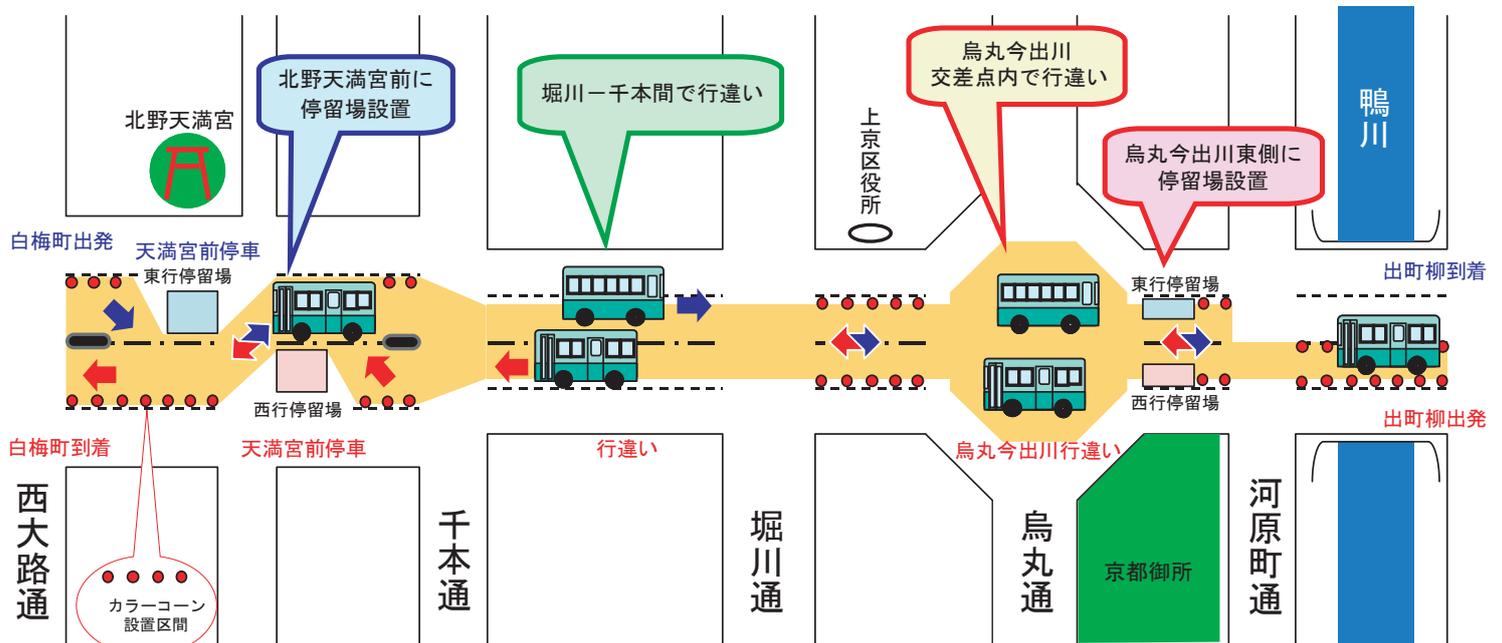
そこで、この実施に当たり、去る11月7日(火)、レジャー京都において「第1回今出川通の交通まちづくりとLRT検討協議会」を開催しました。この協議会は、地元にお住

まいの皆様や関係機関との議論を通じて、より効果的な実験実施に向け、合意形成を図るとともに、実験結果を踏まえ、今後の新しい公共交通システムのあり方を検討するために設立したものであり、当日は交通社会実験(案)(下図参照)や意見交換会の実施状況などについて、活発な議論が行われました。

今出川通における交通社会実験計画(案)

日時:平成19年1月24日(水)の3時間程度(予定)

内容:仮想LRTに見立てた実験バスを10分間隔で運行



意見交換会の結果報告

(詳細については、京都市交通政策室ホームページをご覧ください。アドレスは下記参照)

7月10日から10月20日にかけて沿線学区を中心に意見交換会を開催し、約400名の皆様にご参加いただきました。意見交換会における主なご意見は以下のとおりです。

どうして、廃止した路面電車を復活させるのか。

現在走っているバスの利便性を高めれば十分なのではないか。

車に乗る人がLRTを利用するようになるとは思えない。

今出川線だけ通すのではなく、ネットワークの議論を含め、交通体系の中で位置づける必要がある。

狭い今出川通で検討するのではなく、もっと別に必要なところがあるのではないか。

LRTだけがバリアフリー性に優れていても意味がない。停留場までの歩道など道路全体を整備する必要があるのではないか。

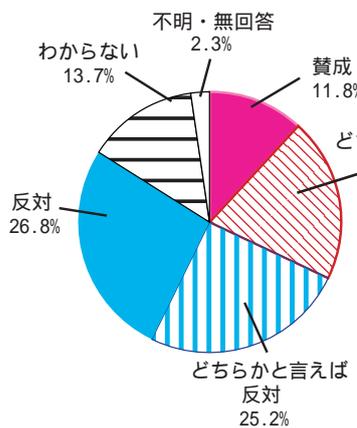
LRTを導入するためには、自動車を減らすための方策をハード・ソフト両面から総合的に考えていくことが必要である。

LRTは環境にやさしく、良い乗り物であると思う。

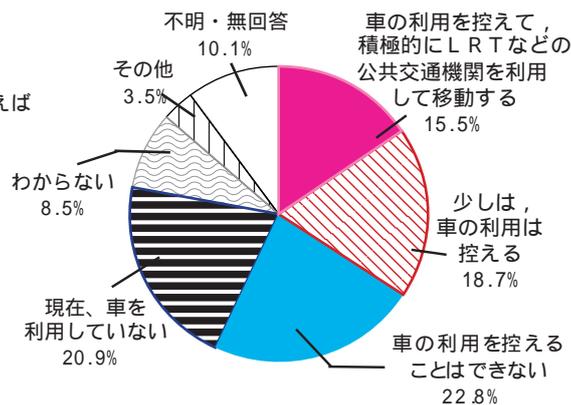
遠い将来を考えると車の使い方を見直す必要があるのではないか。

アンケート結果(抜粋)

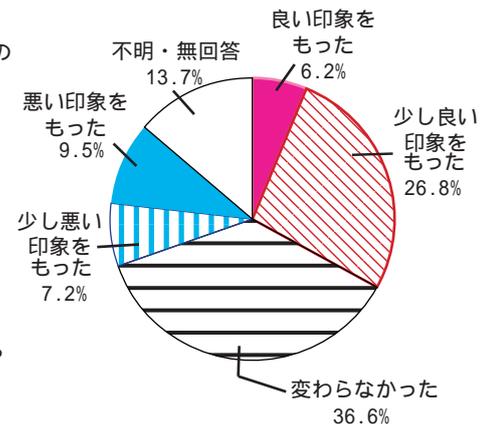
Q. LRT導入に対する意向



Q. LRT導入時における自動車利用意向



Q. 意見交換会参加によるLRTへの印象の変化



交通社会実験乗車モニター募集(期間12月1日~12月28日)

交通社会実験にご協力いただける乗車モニターを募集します。

日 時	平成19年1月24日(水) 午前10時~午後1時(予定)
内 容	実験バスへの乗降, アンケート記入など
対 象	18歳以上の方
募 集 数	300名程度
申込方法	市役所案内所, 区役所・支所などで12月1日から配布するチラシに添付の申込書, またはホームページ(http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/)から。

今後の予定

平成18年12月1日~	交通社会実験乗車モニター募集開始
平成18年12月中旬	第2回協議会開催
平成19年1月24日	交通社会実験の実施(予定)

京都市では、意見交換会における皆様のご意見や交通社会実験の結果などを踏まえ、LRTをはじめとする新しい公共交通システムのあり方について慎重に検討していきます。

京都市交通政策室のホームページで、LRTに関するご意見を募集しています。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/lrt/>